

デイサービス 日和

第9回運営推進会議報告書

管理者 滝 真二

下記要領にて第9回運営推進会議を行う予定でしたが、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面での開催とさせて頂きましたことご報告いたします。

記

1. 参加者：計 7 名

内訳 管理者 滝 真二
生活相談員 安藤 真由美
江南市高齢者生きがい課 山下様
江南中部地域包括支援センター 蟹江様
民生委員 荒田様
利用者代表 佐々木様
家族代表 滝 様

を予定しておりました。

2. 会議の文書を各出席者様に郵送でお送りさせて頂き、ご意見やご質問を賜りました。ご協力いただきました方々のご意見、ご質問及び回答は以下の通りとなります。

・民生委員 荒田様よりのご意見

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、収束の見通しが立たない状況であります。三密などしばらくは我慢を続けなければなりません、コロナ禍でも明るく楽しく生きていけたら、と考える次第です。今回の運営推進会議の書面を拝見させて頂き、適正に運営をされております。お年寄りを抱えた難しいお仕事、その時々判断が正しいのではないかと思います。

・ご家族代表 滝 様よりのご意見

私は都合により、母の送迎をして利用しています。送迎時に雰囲気を見学することが出来ます。資料を拝見し、要介護5の方が2名いらっしゃる事に驚きました。職員の方がうまく対応をしてみえるので、気付きませんでした。職員の方が、利用者全員を一人一人把握してみえるので、安心して預けることが出来ます。お出かけ型デイサービスでしたが、新型コロナウイルスの影響で、母が楽しみにしていたお出かけも全くなくなりましたが、活動の中身を色々工夫されるなど、写真の皆さんの笑顔を見て安堵しました。

また当デイサービスの利用者が2名も行方不明になるなど、たった10名定員の当デイサービスで起きるなど驚きでした。当日休みの職員が捜すことができたことは本当に良かったです。

休みの職員が動くなど、すごい責任感と一人一人を本当に家族のように思う日和の職員の皆さんの資質、本当に心配されたことでしょう。そんなあったかい日和の雰囲気大好きです。

要介護5の方がみえる日には、利用者を減らし、職員の皆さんで気を付けてみえると聞き、本当に頭の下がる思いです。

コロナウイルスのため、消毒や一人一人マスクを着用するなど、今まで以上に仕事も増え大変なことと思いますが、家族にとって、デイサービスはとても必要なところですので、職員の皆様、身体に気を付け頑張ってくださいと思います。

また色々な行事やお出かけが出来ます様、楽しみにしています。

私たち家族も、コロナウイルスに感染しないよう、極力お出かけを避けています。それまでに母の足が弱らないように近所の散歩などを続けさせたいと思っています。

・江南市役所高齢者生きがい課 山下様よりのご意見

地域とのかかわりにおいても、積極的に連携していただいていることがわかります。引き続き、ご協力をお願いします。

・江南中部地域包括支援センター 蟹江様よりのご意見

- ・コロナ対策にてやる事が増えて大変かと思いますが、引き続き頑張ってください。
- ・認知症の方の対応について深くアセスメントし、他の機関ともよく対応策に取り組まれていると思います。
- ・江南市の安全ネットのメールからサービス利用者の方を確認し、行方不明の方の対応にも自発的に乗り出され、行動力に驚かされております。
- ・コロナの時期の対応策についても自らのデイサービス内でできることに創意工夫をされ利用者の方の生活の中の楽しみを失わないように努力されていると思います。
- ・生き生きとしたゲストさんのレクへの取り組みがわかります。
- ・行方不明者の発見、とても早く発見ができたのは、顔がわかるデイのスタッフさんたちの力だと思いました。ご家族たちも安心だと思いました。

・江南市役所高齢者生きがい課 山下様よりのご質問と回答

Q. コロナ禍で外出などができない中で、デイサービスの役割は重要だと感じます。利用者の方の様子や感染予防に努めつつ工夫して運営を継続していただいているのですが、事業所側、職員の方の負担の状況はいかがですか。

A. 手指消毒については日頃から、入室時、トイレ後、食事及びおやつ前に行っていますので、職員も利用者様も特別な事ではなく行えています。しかし、マスク着用については、慣れない利用者様が多く、すぐに外してしまったり、着用の意味

がわからない方もいらっしやって、促しに苦勞する事もありました。また何度も勧める事により不快になるのではないかと気を遣う事もありました。普段から勞作後に呼吸が荒くなる方に勧める事にも抵抗がありました。認知症でマスク着用が出来ない方へ、他の方からのクレームがないか心配でしたが幸い、1度もありませんでした。

江南市は一時、コロナウイルス感染者が拡大しており、利用者ご家族様の職場での発生ではないか、不安になる事がありました。職員、利用者様、ご家族様、それぞれコロナウイルスの捉え方、危機感は違いますので、ご家族様への問い合わせにも慎重になりました。幸い皆様、情報にも敏感で、危機感を持っていらっしゃる方が多く、問い合わせにも嫌な顔はされず、「関連の会社で出ましたが、うちの家族の勤務先ではありません。もし、影響があるような事があれば、すぐにでも連絡します。」と言って下さいました。

また、「いつも家族で喫茶店に行っていたけど、おばあちゃんを連れて行くのは止めた方がいいかな」と相談をされる事もありました。ご家族様の行動にまで意見をする事にためらいはありましたが、その時点での世間の常識と、知り得た情報に従って、「高齢者が重症化していますので、今は自粛をされたほうが良いのではないのでしょうか」とお伝えをさせて頂いた事もありました。

職員の行動につきましては、特に緊急事態宣言中はしっかり外出自粛をしており、職員の家族においても、協力をしてくれました。例えば、子供が不特定多数のお客様と接するアルバイトをしていて、そこから家族→職員→利用者様に感染する恐れもある為、アルバイトを休職してくださるお子さんも何人かいました。職員は介護職である自覚をしっかり持ち、家族も協力をしてくれる事は大変ありがたい事でした。

コロナ禍で普段以上に緊張し、気を張り巡らせ、少しの変化も見逃さないように努めていますが、対策を取っていても感染が拡大してしまうケースなどをニュースや新聞等で目にすると、本当にこのまま営業していて良いのだろうか悩んでしまう時も正直あります。

定員10名の小規模デイサービスと言う事もあり、一人が感染したらあっという間に感染拡大し、クラスターとなって、利用者様やご家族様の多くが重篤化してしまうのではないかと、毎日不安と戦いながら介護に当たらなければいけない職員の心の負担が大変大きな問題です。

・江南中部地域包括支援センター 蟹江様よりのご質問と回答

- Q. P9の事例は素晴らしい対策だと思います。地域住民が見守り手となってもらえるような事例が他にもありましたら教えて下さい。またデイサービスの利用者の方で直接地域住民とやりとりをする機会があれば教えて下さい。
- A. 現在のところはP9の利用者様の事例のみで、他には特にありません。
コロナ禍になった事で、ボランティアの方の活動を制限させて頂き、外部の方

と触れ合う機会が限定されてしまった事はとても残念です。

今後、地域住民の方の協力を得たい事として、真夏における独居の方への見守り支援です。

実際に日中、独居の方で、何度か熱中症になりかけた事を鑑み、例えば民生委員様の見守り等の協力は得られないかどうか、また他に何か手立てはないものか、をケアマネージャー、包括支援センターの方に相談させて頂き、対応策が取れる様であればと思っております。